



東生会東京支部だより

東生会東京支部は、兵庫県立姫路東高等学校の同窓会「東生会」の支部組織です。東京および関東に在住する方を会員として活動しています。ホームページ <http://www.tohseikai-tokyo.org>

第11号

2019年9月発行
編集発行：
東生会東京支部
運営委員会

母校の110周年記念式典の年に寄せて



東京支部の皆さまこんにちは。
昨年の6月の総会において、山野会長から重いバトンを引き継ぎました、19回生の増田泰之です。日頃から清土東京支部長には東生会本部の会議や京阪神支部の会合にも、東京支部を代表して足をお運びいただき、感謝に堪えません。この紙面をお借りして、厚く御礼申し上げます。

さて、いよいよ11月3日の110周年記念行事が目の前に迫ってきました。大きな柱である募金活動も、皆さまのご協力により、目標額である1億1,300万円を超え7月25日現在、1億2,190万円超の募金を集めることが出来ました。まだ今年の12月まで募金を受付けていますので、引き続きよろしくお祈りします。

お陰様で4月には校内に『弥生の庭』も竣工し、現在は東高の正門に沿って南北に延びる野里街道（県道518号線）

に面して『令和の白壁』と命名した工事が9月末の完成に向けて進行しています。まさに、世界遺産姫路城の足元を彩るにふさわしい姿を、東高関係者のみならず、姫路市民はじめ一般の皆さんに披露できる予定です。

また、110周年記念式典に先駆けて、6月1日、姫路市民会館で実施した『110周年令和記念コンサート』も「学校」、「PTA」、「東生会」の3者の素晴らしいコンビネーションにより、大成功を収めることができました。まさに、躍進する東高の実力とパワーを改めて感じた次第です。

これからも、東生会として母校のためにハード面のみならず、育英基金等の更なる充実を図り、より母校が大きく飛躍するための応援を続けていきたいと考えています。

最後になりましたが、来る11月3日の110周年記念式典には一人でも多くの東京支部の方々にご参加いただき、共に祝って頂きたいと思っております。今後とも東生会の発展のために更なるご協力をお願いし、ご挨拶とさせていただきます。

(東生会会長 増田泰之)

2018年東生会東京支部集い報告

2018年11月18日（日）、51年目となる東生会東京支部の集いが学士会館で開催され、今年122名の皆さまにご出席いただきました。今年、32回生の鎮西さん、田中さんが所属される女声合唱団「ピチカート」のコンサートによる楽しい歌声で幕を開けました。

東生会新会長の増田泰之さん、前東生会会長の山野俊二さん、姫路東高の田藤幸夫校長はじめ、兵庫県東京事務所長の入江武信さん、東京兵庫県人会の川崎修さん、姫路市東京事務所長の白谷富美雄さん、白城会東京支部副支部長の長野秀幸さんなど多くの来賓の皆様にもご臨席いただき、ご祝辞を賜りました。

今回はこれまでおなじみの20回生の三木学さんに代わり、32回生の黒田真由美さんが司会。毎年この日を楽しみにお越しいただく皆さま、関東方面に進学した学生の皆さん、それぞれに昔話や近況など、話に花が咲きました。学

生の皆さんも自己紹介をしていただき、専攻分野の仕事に携わる先輩方とのつながりを模索するきっかけになったことと思います。また、1分間スピーチでご紹介いただいた、姫路東高図書文芸部の在生学生を中心に制作した「東高姫路城学かるた読本」が好評で話題沸騰。非売品とのことですが、姫路城の歴史が網羅されている逸品ですので、姫路の名品として多くの方に手に取っていただけるようになればうれしく思います。

毎年お世話になっている28回生の中沢幸世さんの伴奏による歌声東生会。最後に全員で斉唱する姫路東高校歌と応援歌は、現役の学生のみならず、卒業から何年経ってもすらすらと口ずさむことができます。「また来年お会いしましょう」、という言葉がとても安心感を与えてくれる、そんな一日を過ごすことができました。

